

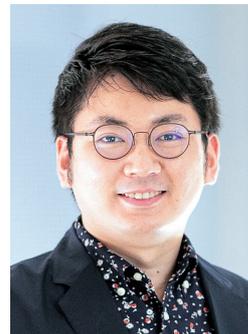
受領No.1540

東京・銀座における地域イメージの空間化の 歴史と実践に関する研究

代表研究者 宮下 貴裕 武蔵野大学 工学部建築デザイン学科 助教

Practice and History of Spatialization of Regional Image in Ginza

Representative Takahiro Miyashita, Faculty of Engineering, Department of Architecture, Musashino University, Assistant professor



研究概要

本研究の目的は、戦後の東京・銀座における都市環境デザインの展開の中で地元関係者や建築設計者が共有してきた「銀座らしい」空間のイメージと空間デザイン手法の変遷を明らかにし、地域の特性を活かした今後の開発と空間の利活用の新たな方向性を見出すことである。

歴史調査としては、地元の主体である商店街組織・銀座通連合会の運動の展開に注目し、各時代に実施された開発への対応や、独自の構想立案の動きを組織の内部資料から整理する。そしてもう一つの主体として銀座で開発を行ってきた事業者（建築設計者）にも注目し、各時代に実施された開発における問題意識と設計思想を整理する。これらの分析を通し、二つの主体が銀座という街に対して見出した地域イメージと、それを踏まえて示された空間デザインアプローチの蓄積・変遷を明らかにする。

そしてこれらの知見を基盤とした実践の展開として、これまでに共有されてきた地域イメージの反映と言える現在の都市環境の特徴や固有性を分析し、そのデータを踏まえて今後における「銀座らしい」空間デザインの提案を、既存建築空間を活用した社会実験を通して実施する。過去に見出されてきた地域イメージに加え、現在の社会状況や都市活動における需要を反映した新たな空間像を検討し、新規開発に対しても還元可能なデザイン手法を構築する。